

IR University

第13回 「資本市場とIR シンポジウム」のご案内

実践！戦略的IR活動～サステナビリティとコーポレートガバナンスの視点で～
(青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 共催)

ご挨拶

平素より皆様には大変お世話になっております。当シンポジウムは、資本市場において重要と考えるテーマや課題を取り上げ、毎年、開催しております。

第13回となります本年は、サステナビリティの取り組みをいかに企業価値に結び付けていくのか、というテーマにて、投資家、企業のご担当者、メディアというそれぞれの観点からの議論を展開していただきます。

基調講演は、ニッセイアセットマネジメント株式会社の執行役員チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサーであり、サステナビリティ基準委員会(SSBJ)の委員も務められる井口譲二氏にお願いし、サステナビリティ情報開示についての日本企業への期待を機関投資家の視点でお話しいただきます。

企業のご担当者からは、お取り組みの状況について実務の観点からお話しいただき、共催となります青山学院大学の伊藤晴祥教授にも昨年に続きご講演いただきます。加えて弊社からは、企業と投資家との認識ギャップ、アクティビスト対応と取締役会の役割などについてご案内申し上げます。

大討論会においては、企業との対話という観点から一般社団法人機関投資家協働フォーラム理事の鎌田博光氏、企業のIR担当という観点から横河電機株式会社の中谷博彦氏、メディアの観点から株式会社日本経済新聞社の小平龍四郎氏にご登壇いただきます。

本年は、4年ぶりに会場にて皆様をお迎えするとともに、オンラインによる配信も実施するハイブリッド開催といたします。また、シンポジウム終了後は、会場にて懇親の場を設けることといたしました。皆様のご交流の場としていただけますと幸いです。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ジェイ・ユール・アイアール(株) 取締役会長 岩田宜子

開催趣旨

以下のようなテーマのもと、議論を深めます。

- ・ ISSB 開示基準への投資家の見方、企業の対応
- ・ サステナビリティの取り組みを、どう企業価値に結びつけるか
- ・ 資本市場の見方をいかに取締役会に還元するか、取締役会での議論をいかに資本市場に伝えるかなど

開催概要

日 時 :2023年11月20日(月)
シンポジウム 13時30分 - 17時55分
懇親会 18時00分 - 18時30分 (会場にてご参加いただいた場合)

形 式 :会場及びオンライン配信

会 場 :新東京ビル4階ラウンジ“The 4th” (東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル)

会場定員 :30名(誠に恐縮ですが定員に達し次第、締め切らせていただきます。)
※配信には定員はございませんが、ご参加いただく場合はお申し込みが必要です。

参加費用 :

- ・弊社と現在お取引のある企業・・・無料
- ・弊社のフラッシュニュース受信企業・・・一人1000円(税別)
- ・その他企業・・・一人2500円(税別)

お申し込み方法

お申し込み :右のボタンをクリックして、お申し込みください。
折り返し、詳細のご案内を致します。

参加申し込みボタン

締め切り :2023年11月10日(金)まで

問合せ先 :ジェイ・ユール・アイアール株式会社

担 当 :大湖・鈴木・前園・伊牟田

E-mail :ir_university@j-eurusir.com T E L :03-6273-4032(代)

スケジュール(予定)

時間	講演内容	登壇者
13:30～13:35	はじめに	岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
13:35～14:15	基調講演 「サステナビリティ情報開示に対する機関投資家の期待 －ISSB 基準・SSBJ 基準設定の中で－」	井口 譲二 氏 ニッセイアセットマネジメント(株)
14:20～14:50	企業価値向上に資するサステナブルファイナンスの実践: Narrative and Number による戦略的 IR	伊藤 晴祥 教授 青山学院大学大学院国際マネジメント 研究科
14:55～15:15	「三井住友トラストグループによる「ガバナンスサーベイ 2023」より 企業と投資家の認識ギャップ」	田中 康雅 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
15:15～15:30	休憩	-
15:30～15:50	「アクティビスト対応における取締役会の役割」	高山 与志子 宮地 真紀子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
15:55～16:25	(仮題) 当社のサステナビリティの取り組みについて	大崎 修一 氏 帝人(株) モデレーター: 原山 真紀 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
16:30～17:00	「久光製薬のサステナビリティの取り組みについて」	森崎 亜紀子 氏 久光製薬(株) モデレーター: 鈴木 紀子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
17:00～17:10	休憩	-
17:10～17:50	大討論会 テーマ: (仮題)「サステナビリティを取り巻く環境の変化に 対応するための企業実務を考える」 登壇者 鎌田 博光 氏(一般社団法人機関投資家協働フォーラム) 中谷 博彦 氏(横河電機(株)) 小平 龍四郎 氏(株)日本経済新聞社)	総合ファシリテーター: 岩田 宜子
17:50～17:55	おわりに	岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
18:00～18:30	懇親会	

<ご参考> 過去5回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

- 第 12 回 : 資本市場の評価を得る IR・SR と取締役会とは ～ 日本企業の成長に向けて ～
- 第 11 回 : まだ間に合う CG 報告書-投資家の評価を得るには
- 第 10 回 : 新しいIRO の役割とは-企業の成長にどう貢献するか
- 第 9 回 : ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきこと-ガバナンス概念の拡張
- 第 8 回 : ESG 今、何が起きているのか、IR 担当者が出来ることは

井口 譲二 氏**ニッセイアセットマネジメント株式会社 執行役員チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー**

IFRS(国際会計)諮問会議委員、サステナビリティ基準委員会(SSBJ)委員、日本証券アナリスト協会『サステナビリティ報告研究会座長』、金融庁『企業会計審議会委員/サステナブルファイナンス有識者会議委員/金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループ委員など』、ICGN 理事指名委員会委員など。内閣官房『非財務情報可視化研究会委員』、経済産業省『人的資本経営の実現に向けた検討会委員』などを歴任。主な著書に『財務・非財務情報の実効的な開示』(別冊商事法務2018年4月)、『コーポレートガバナンス・コードの実践』(共著、日経BP、2021年8月)などがある。

大崎 修一 氏**帝人株式会社 ミッション・エグゼクティブ サステナビリティ推進部長**

1988年帝人株式会社入社。ソフトウェア開発技術研究、情報システム企画、経営戦略等の経験を経て、2015年よりCSR企画に従事。2017年4月CSR企画推進部発足と同時に部長就任。マテリアリティの設定、環境目標策定、統合報告書制作など、帝人グループのサステナビリティ経営推進に従事。2022年4月帝人グループ理事 CSR 管掌補佐(SDGs 推進担当)、2023年4月よりミッション・エグゼクティブ サステナビリティ推進部長(現職)。サステナビリティ経営の推進、トータルリスクマネジメント、コンプライアンス推進などを統括。

森崎 亜紀子 氏**久光製薬株式会社 サステナビリティ推進部 部長**

1994年3月久光製薬株式会社入社。文化事業室、文化事業・CSR 推進室等を経て、2020年3月サステナビリティ推進部発足と同時に部長就任。マテリアリティやKPIの設定、統合報告書の制作など、久光製薬グループのサステナビリティ経営推進に携わる。

鎌田 博光 氏**一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム 理事**

1983年国際基督教大学卒業、山一証券株式会社入社、盛岡支店、国際営業部、オランダ銀行子会社、株式先物・オプションのトレーディングデスク等を経て、山一投資顧問及びその後継のソシエテ・ジェネラル・アセットマネジメント及びアムンディ・ジャパンにて一貫して日本株式運用に携わる。2020年同社退職。その間、オイルマネー、欧米年金、国内年金、投資信託等の運用に携わり、大型株の運用、小型成長株、小型割安株の運用の立ち上げも行った。投資家フォーラム運営委員。スチュワードシップ研究会運営委員。

中谷 博彦 氏**横河電機株式会社 経理財務本部 IR 部長**

1999年YOKOGAWA入社。グループ生産企画管理、国内営業業務部門等を経て2009年にIRに異動、ステークホルダーとの対話・経営へのフィードバックを中心に、株主総会関連も含め各種開示書類の作成発行等の業務に従事。2018年よりIR部長。

小平 龍四郎 氏**株式会社日本経済新聞社 日本経済新聞編集委員**

1988年早稲田大学卒業後、同年日本経済新聞社入社。証券記者として「山一証券、自主廃業」や「村上ファンド、初の敵対的TOB」などを取材。欧州総局、経済金融部編集委員、論説委員、アジア総局編集委員を経て、現職。著書に『企業の真価を問うグローバル・コーポレートガバナンス』『アジア資本主義』(いずれも日本経済新聞出版)『ESGはやわかり』(日経BP)がある。

伊藤 晴祥 教授

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科

イトックス株式会社 代表取締役

ハワイ大学から博士(国際経営学)、慶應義塾大学から博士(政策・メディア)を取得。国際大学講師、准教授、青山学院大学准教授を経て、2023年4月より現職。2015年8月よりイトックス株式会社代表取締役。専門分野は、サステナブルファイナンス、コーポレートファイナンス、リスクマネジメント、リアルオプション。2018年に日本保険学会賞(論文の部)、2022年に生命保険文化センター優秀論文賞、2023年に青山学院学術賞を受賞している。サステナブルファイナンス分野にて、「サステナブルインシュランスの実現可能性に関する研究—Balaise Assurances Luxembourg が販売した100% Sustainable Life Insurance を事例として—」生命保険論集第222号を始めとする多数の論文を執筆している。2020年から、ISO/TC207 環境マネジメント及びISO/TC322 サステナブルファイナンスのエキスパートを務めており、現在では自然資本会計、サステナブル金融商品及びサービス、専門用語のワーキンググループにおいて国際規格作成に従事している。

岩田 宜子

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 取締役会長

米系銀行勤務後1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IR会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。2016年IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

高山 与志子

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 副会長

ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役

1987年、メルリンチ証券投資銀行部門 NY に入社。国内外での資金調達、M&A などのアドバイス。トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズを経て、2001年、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)。2015年、ボードルーム・レビュー・ジャパン(株)代表取締役。現在「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。

田中 康雅

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役社長

1992年住友信託銀行(現三井住友信託銀行)入社。2001年以來20年超に渡り、証券代行業務に従事し、株式実務や株主総会のサポートに携わる。数多くの企業再編や増資・株式分割等の資本政策、IPO 準備等における株式実務のアドバイスに加え、ガバナンスや役員報酬、投資家との対話、サステナビリティ対応など、数多くの上場企業と様々なテーマで情報提供や意見交換、助言等を実施。2023年4月にジェイ・ユーラス・アイアール株式会社代表取締役社長に就任。

宮地 真紀子

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 シニアマネージャー

大手総合電機メーカーを経て、2005年ジェイ・ユーラス・アイアール(株)入社。大型企業合併・買収防衛等に関わる株主総会支援、TOB支援、アクティビスト対策・企業防衛、等数多くの案件にプロジェクトマネージャーとして参画。株主との対話の観点からコーポレート・ガバナンスに関する経験・知見を深め、企業へのコンサルティングを提供。2014年の日本における本格的な取締役会評価第一号企業から評価に参画、以降、取締役会評価の支援全般に携わる。